Cam-Tite カムタイト® 仕様タイヤチェーン

チェーンの締め付けがワンタッチでOK！「厳寒の中での大型チェーンの着脱」という、ドライバーの時間と手間と負担を解決。

大型のタイヤチェーンは質量も大きく、厳寒の中での緩みのない装着作業には時間と手間がかかります。このような悩みを解決するのが、カムタイト仕様タイヤチェーン。サイドチェーン（外側）にカムタイトを取り付け、ワンタッチでチェーンの締め付けを可能にしました。

（サイドチェーン線径が5.54 mmの形番には3カ所、7.00 mmおよび7.9 mmの形番には4カ所ついています。ライトマックスはサイドチェーン線径が4.5 mmの形番には3カ所、5.00 mmの形番には4カ所ついています。）

1 カムを締める前の状態（緩めた状態）

2 レンチでカムを締めはじめたところ

3 カムを締めた状態

（カムタイト半円は上下逆のものもあります）

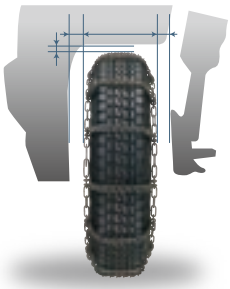
- ●バンド不要、着脱作業が簡略化されます。
- ●緩みなく装着できるので、走行中のクロスチェーンへの衝撃（遠心力により、クロスチェーンがタイヤから浮き上がり、路面にたたきつけられる）が小さくなり、クロスチェーンの寿命が長くなります。
- ●路面のいたみも少なくなり、乗り心地も向上します。
- ●タイヤにピッタリとフィットするので、クリアランスの狭い車に最適です。

［装着・走行上のご注意］

1. 装着前に全てのカムタイトが「緩めた状態」になっているかを確認し、「締めた状態」のものがあれば緩めてください。カムタイトがタイヤの外側になるようにかぶせます。
2. 内、外側のサイドリンクの余りリンク数が、できるだけ同数になるように装着してください。
3. 内、外側のサイドチェーンを連結した後、車軸を前後に５～６ｍ移動させますとチェーンに緩みができますので、再びリンクをできるだけ詰めて、チェーンの緩みをとってください。
4. 最後に、付属レンチでカムタイトを締め付けてください。
   （締め付けはできるだけ対角線上のものから行えば片寄りが少なくなります。）
   ※装着時には1～2個のカムタイトでも十分な締め付けが得られるようにサイドチェーンのリンクをできるだけ詰めておいて、残りは増締めの際に使用してください。（最初から４カ所全部のカムタイトを締めて張力を得るようなことは避けてください。）
5. 走行中、チェーンに緩みが出てきたら、残りの「緩めた状態」のカムタイトで増締めをし、走行してください。
   ※カムタイトは、適度な締め付けを行ってください。（締め付けすぎると、タイヤのトレッドやサイドウォール他を傷める場合があります。）

注）1. ラグチェーン・トラッカーファイブは「六角レンチ」（市販品 六角棒スパナ）を付属しています。サイドチェーン線径が 5.54mm 用には M12 用、それ以外は M14 用となります。
（紛失時には、お近くの工具店などで購入できます。）
2. ライトマックス・カミオンマックス CT は専用の「四角レンチ」（付属品）をご使用ください。

クリアランスの狭い車に最適！



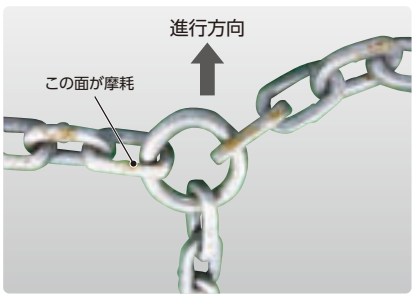
長くお使いいただくために

トラック・バス用タイヤチェーンを長くお使いいただくため、定期的にクロスリンクの摩耗状況をご確認ください。
左右タイヤに装着しているタイヤチェーンは、タイヤの回転方向によりクロスリンクの特定の位置が摩耗します。
クロスリンクの同じ位置が摩耗すると極端に寿命が短くなりますので、左右のタイヤチェーンをローテーションすることをおすすめします。
また、ローテーションする（装着しなおす）ことでクロスリンクのあたり面が変化し、このことも長寿命につながることになります。
クロスリンクの形状により摩耗状況が異なりますので、下記を参考にローテーションしてください。

●ライトマックス、カミオンマックス（ダイヤモンドパターン）

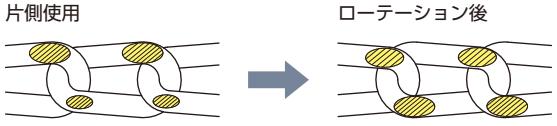
クロスチェーン断面

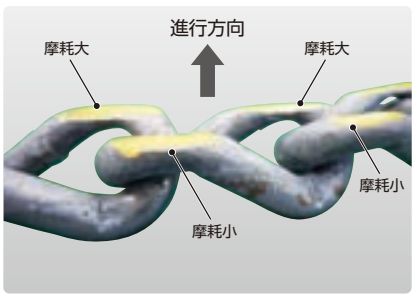
使用前 → 片側使用 → ローテーション後　摩耗のイメージ



ライトマックスの摩耗例

●Sラグチェーン、トラッカーファイブ、Vラグチェーン（ラダー形）





トラッカーファイブの摩耗例